

モニタリング調査結果

種名 : カワラノギク

調査者 : 光明学園相模原高等学校

調査地 : 相模川左岸河川敷

調査期間	気づいたこと
2018年1月 ～2018年12月	保全活動としてカワラノギクの種を保全地に播いた。 その後順調に生育し、11月に開花を確認した。 ロゼットが多数見られたので、翌年の開花が期待できる状態であった。
2019年5月 ～2019年11月	前年までに形成されたロゼットが多かったため、今年は種まきをしなかった。 9月中頃からシュート伸長が見られ、11月初旬に開花した。 ロゼットが一斉に開花したため、多くの開花を確認することができた。
2020年5月 ～2020年6月	保全地内に残っていたロゼットが3株確認できた。こぼれ種からの芽生えが数個体確認できた。
2020年9月 ～2020年10月	9/11 ロゼットに花芽が見られた。 こぼれ種からの芽生えも成長し、花芽をつけていた。
2020年11月	11/18 ロゼットの花芽、実生株の開花を確認。花数は少ない。
2021年5月 ～2021年11月	前年の台風被害により土砂に埋もれてしまった保全地の修復作業が進められず、生育個体、開花個体は見られない状態になっている。 今後は保全地の場所を丸石が多くある場所に移して、播種していく。
2022年5月 ～2022年11月	土砂に埋もれてしまった保全地の再生活動ができておらず、生育個体を見ることはできない。